

新たな西ノ岡中学校のスタート

今年は、3月に入ったとたんに暖かくなり始め、桜の花も早咲きでした。校内の桜の木も4月になると同時に満開を迎えました。春本番となり、鳥や虫たちも元気に活動し、生命力を感じる季節となりました。

学校は、始業式・入学式を終え、全校生徒372名で令和5年度をスタートしました。生徒にも新たな学年のスタートを、「気持ちも新たに頑張ろう!」という意欲がうかがえます。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度も皆様のあたたかいご指導とご支援を何卒よろしくお願いいたします。



さて、始業式・入学式で生徒に2つのことを話しました。

1つ目は、「挑戦する気持ちを大切にしてほしい。」ということです。4月は1つの大きな節目であり、新たなスタートのときです。何かを決意し、始めるのには絶好の機会です。最初は、「1年間ちゃんとやっっていけるだろうか。」と不安な気持ちの方が大きいかもしれませんが、学習、部活動、友人関係など、自分でどんなことに取り組むか、まずは目標を決めて挑戦してください。初めのうちは、うまくいかないこともあると思いますが、あきらめず、焦らず、急がず、続けていくうちに見通しが持てるようになるはず。学校生活をとおして、自分で考え、粘り強く取り組む力をつけてください。

2つ目は、「人との出会いを大切にしてほしい。」ということです。4月は、新たな人との出会いのときです。誰でも、最初は新しい環境に不安を感じるものですが、勇気を出して、まずは自分の方から「あいさつ」をしてみましょう。「あいさつ」は、人と人をつなぎ、互いの感謝を伝えるための合い言葉です。「あいさつ」をきっかけにして、お互いに話しやすい雰囲気生まれ、気軽に会話ができるようになり、友達の輪が広がっていくはず。コミュニケーションの始まりは、「あいさつ」からです。いつも、気持ちの良い「あいさつ」ができる人であってください。

下に「あいさつ」で『あいうえお作文』をつくってみました。

あ	いてを見て
い	つも笑顔で
さ	きに
つ	ねにする



この西ノ岡中学校を「あいさつ」でいっぱいにして、誰もが気軽に会話ができ、人とのつながりを大切にする、おもいやりのあふれる学校にしていきたいと思います。

校長 岡本 英明
学校だより4月号より